

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 3月 3日

| | | | |
|--|----------------------|--------------|---------------------------------------|
| 所属・職名 | 商経学部・教授 | 氏名 | 杉浦 一雄 |
| 研究課題 | 日本文化日本文学研究 | | |
| 研究キーワード | 文化・文学・神道・源泉・源氏物語・古事記 | 当年度計画に対する達成度 | 3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した |
| <p>1. 研究成果の概要</p> <p>日本文化に関しては、全国各地の宗教施設・文化施設をおとずれ、目下民俗信仰・民俗文化に関する研鑽を積み重ねているところであり、今後も地道な調査研究に邁進していく所存である。日本文学に関しては、『源氏物語』が『古事記』神話を踏まえて成立しているのではないかという仮説を掲げ、〈玉鬘十帖〉の「真木柱」の巻を中心に確認する論考を引きつづき発表している。これによって、これまでわずかにしか知られていなかった平安時代における『古事記』享受の実態が少なからず明らかとなり、『古事記』研究に新たな道すじが開かれるものと期待している。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文】「源氏物語と古事記神話（四）」杉浦一雄、単著、『千葉商大紀要』、第57巻第3号、9頁～1頁、2020年3月、査読無。</p> <p>【著書】なし。</p> <p>【学会発表】なし。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>①2018年の地震によってかなわなかった北海道函館の現地調査を敢行することができた。さらに、京都への現地調査をかなえ、精力的にめぐることができた。</p> <p>②バッテリーの製造中止にともないデジタルカメラ、プリンターなどの機器を購入した。</p> <p>③『今井源衛著作集』の刊行がつづいたため、継続して著書を購入するなどに使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p> | | | |

(本文は1ページ以内にまとめること)